



# ファミサポ通信

第3号  
発行 2017.3

発行：DD ユニットファミリーサポート

【受託】NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 東京医科歯科大学 学生支援・保健管理機構 DDユニット事業推進室

TEL: 03-5803-4173 FAX: 03-5803-0412 e-mail: family-support.ddu@tmd.ac.jp

URL: [http://www.tmd.ac.jp/cmnddu/project/family\\_support.html](http://www.tmd.ac.jp/cmnddu/project/family_support.html)

## 一年間の活動を振り返って

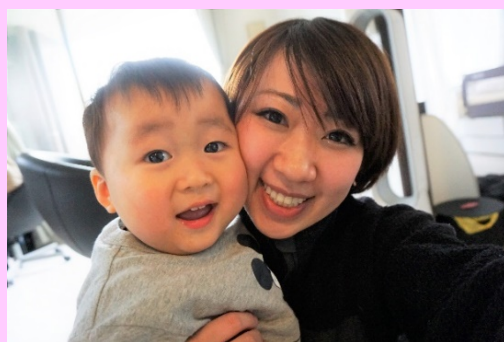
いつも DD ユニットファミリーサポートの活動にご理解・ご協力頂きありがとうございます。

昨年4月に活動が始まってから1年間、安全に子ども達の支援をすることができました。心から感謝申し上げます。

### 「ファミリーサポートを利用して」 依頼会員さんからのメッセージを紹介します♡

**1年前**、私が東京医科歯科大学の大学院に入学した時、息子はちょうど1歳になる直前でした。勤務医だった私が、妊娠を機にもう一度大学院で勉強しようとするの大学を選んだのは、学内保育園があり女性支援や子育て支援などが充実しているとお話を伺った事がきっかけでした。早速 DD ユニットファミリーサポートに申し込み、提供会員さんと顔合わせをしていただきました。うまくやっていけるだろうか、子どもに何かあったらどうしようなどの不安がありましたが、何度か利用していくうちにその不安はあっという間になりました。私たちを温かく見守ってくださる提供会員さんは、いつも近くに寄り添ってくれる我が家の家族のようです。診療・研究・子育てのバランスを保つ中で一番苦戦するのが、子供の体調不良でした。病児・病後児保育では、細かく子どもの体調を

みてくださるので、密に連絡を取り合い急変に備えられました。本当に感謝でいっぱいです。親戚や友人にはちょっとお願いしにくい事も、DD ユニットのアドバイザーが間に入ってくれるので、お互い伝えやすいという利点もあるかと思えます。



依頼会員 HARUくんママ より

利用させていただくようになりはや半年、娘達の成長を見守ってくださる存在が増え、嬉しく思っております。私共依頼会員も提供会員さんもアドバイザーさんも皆「一般の方」。提供会員さんは、社会や人生で幅広い経験を持ち一定の講習を受けている方々なので、パパママ歴数年余りの自分達以上と、安心してお任せしております。

現在は、4歳と2歳の娘を2名の提供会員さんに、週一回保育園へのお迎えから母が帰宅するまでの2時間程度の支援をお願いしています。娘達も「今日はファミサポさんの日」と覚えて毎週楽しみにしています。帰宅し夕飯をすませると、かくれんぼやお絵かき、ぬり絵、折り紙、あやとり、読書、カルタ、パズルなど好きな遊びにマンツーマンで付き合ってもらえて

非常に満足そうです。そのような中、ファミサポさんは娘達の安全を第一に、甘えとワガママの区別もつけ、よく観察し、何事にも冷静に対応して下さり大変感謝しております。毎日、目一杯仕事をしてからの迎えから就寝まで、あまり娘達の言い分に耳を傾けられずに、慌ただしい時間が過ぎていきます。それが帰宅後入浴と就寝だけになるこの日はだいたい気楽で、ゆとりあるひとときを過ごしています。

これからも皆様の助けを借りながら、常に謙虚な気持ちを忘れずに子育てを楽しみ、仕事と両立していきたいと思っております。

依頼会員 二児の母 より



# 提供会員第3期生が誕生しました

【保育サービス講習会】第3期（平成29年1月16日～2月13日までの7日間 全30時間）が開催されました。13名の方が提供会員に登録されました。これから一緒に活動することが楽しみです。



第3回  
保育サービス  
講習会

今回、修了式には東京医科歯科大学 学生支援・保健管理機構長 宮崎泰成教授にご出席いただきました。

「修了証をいただくのは久しぶり、嬉しいような緊張する思いです。いよいよ提供会員としてスタートします。みなさまどうぞよろしくお願いいたします！」（第3期提供会員一同）

時代の要請に合致した活動であると思います。お役に立てればと思います。

忙しい若い人達の手助けをしたと思い講習を受けました。

## 修了生の皆さんの感想 ～ふり返しシートより～

今後女性が社会進出していく上で、大変重要なサポートになると思いました。このような制度で育児支援できることは、社会にとっても意味があると思います。



### 子どもの遊び <大森 靖枝氏>

声を出して笑ったのは久しぶりです。楽しい遊びをたくさん教えて頂きました。遊びの大切さを感じました。お子さんと遊ぶのが楽しみです。



### 子どもの暮らしとケア <小俣 みどり氏>

### 普通救命講習 本郷消防署

乳児の人形を使っての胸骨圧迫の訓練。声を出して力も必要！

### 学内保育所 わくわく保育園見学

国際色豊かで楽しそう。

### 心の発達と保育者のかかわり 障がいのある子の預かり について

<湯汲 英史氏>



### 身体の発達と病気 <森丘 千夏子氏>

発熱、呼吸困難等、系統立てて病気を学ぶことでより深く理解できました。活動への自信につながりました。



### 小児看護の基礎知識 <岡光 基子氏>

バイタルサインズ測定のDVDがとてもわかりやすかったです。具体的な説明が大変参考になりました。ディスカッション等を取り入れて下さったのがとても良かったです。



### 子どもの栄養と食生活 <吉田 朋子氏>

0歳から1歳半までの食育は人の進化を見ているようでした。お母さんと子どもさんに気持ちよく快適に過ごせる時間を提供できるように努力したいと思います。



### 事故と安全

<小俣 みどり氏>

幼児視野体験メガネを使ったことで、子どもの視野の狭さに驚きました。「事故予防のポイント」等の資料が大変参考になりました。注意を払っていきたいと思います。



## 第2回スキルアップ研修会を開催しました

テーマ：「安全で安心なファミリーサポートのために」  
～保育事例を通して考える～

スキルアップ研修会は、提供会員の皆さんに特に知って欲しいテーマについて詳しく学ぶ勉強会となっています。今回は、平成22年11月に大阪府八尾市でファミリーサポート活動中に起きた乳児死亡事故と、この裁判について取り上げました。この裁判は、今年3月3日に和解が成立しました。

事故原因、裁判の争点、事故防止のために必要なことについて学び、各自の考えを発表しました。

安全な保育への意識を保持するためには、定期的に研修に参加して適切な情報を得て、継続して学ぶことが最も大切であることを再確認しました。



各自の経験を基に、活動中の疑問点やその解決方法等について、意見交換した後、グループで発表しました。



平成29年3月15日(水) 13:30~16:30  
東京医科歯科大学 M&D タワー 11F 大学院講義室3にて  
参加者：提供会員15名  
講師：NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ  
理事長 小保 みどり

### 参加者のアンケートから

- ◆重大事故の話題を耳にすると、サポートをするにあたり、不安がよぎってしまいますが、事故を未然に防げるように、研修をまめに受ける必要性を感じました。
- ◆他の会員の皆さんと考えや思いをシェアすることによって、より適切な判断につながっていけそうです。今日参加できて大収穫でした。
- ◆お子さんを預かることは、「お命」を預かること。その認識でサポート活動を行いたい。

### 活動中の提供会員さんからのメッセージ♪

以前から保育に関わりたい気持ちはありましたが、手の届かないこととっていました。何気なく手に取った講習会の案内を目にして「私にもできるかもしれない…」と思い切って申し込みました。

講習会へ通う日々はとても充実し、修了すると間もなく2歳と4歳の姉妹のサポート依頼をいただきました。活動に入るにはまだ不安もありましたが、先輩サポーターの方と一緒とのことで一歩踏み出すことができ、初めての打ち合わせで姉妹が顔を覗かせた時には、あまりに可愛らしく不安が大きな喜びに変わったことを覚えています。

いつもアドバイザーの方々の存在は心強く、活動中は何より子ども達の身を守ることを心に据え、幸せに屈託の無い時を過ごしてくれたなら嬉しいです。そして、私の小さな善意を生かし力として下さる出会いに感謝し、このような価値が社会に根ざしていくことを願います。

提供会員 N.T より



### <お願い>

#### 依頼会員さんへ

①事前打ち合わせで決められたこと以外は頼まないようにしてください。急な保育内容の変更は、提供会員さん・お子さんの負担になり、事故につながりやすくなります。

②保育の謝礼は封筒に入れておつりのないように渡す等、金銭の授受に関するご配慮をお願いします。振り込みの場合は活動月末までに。

③保育当日急きょ帰りが遅くなる場合は、提供会員さんに必ず連絡をお願いします。

#### 提供会員さんへ

①お子さんの保育にふさわしい、活動しやすい服装・靴でお願いします。

②守秘義務を徹底してください。サポートしているお子さんやご家族の情報を決して他言しないように気を付けて下さい。

③困った事が起こったら、小さなことでも DD ユニットファミリーサポートにお知らせください。大きな事故やトラブルになる前に、ヒヤリハットを共有して気を付けましょう。

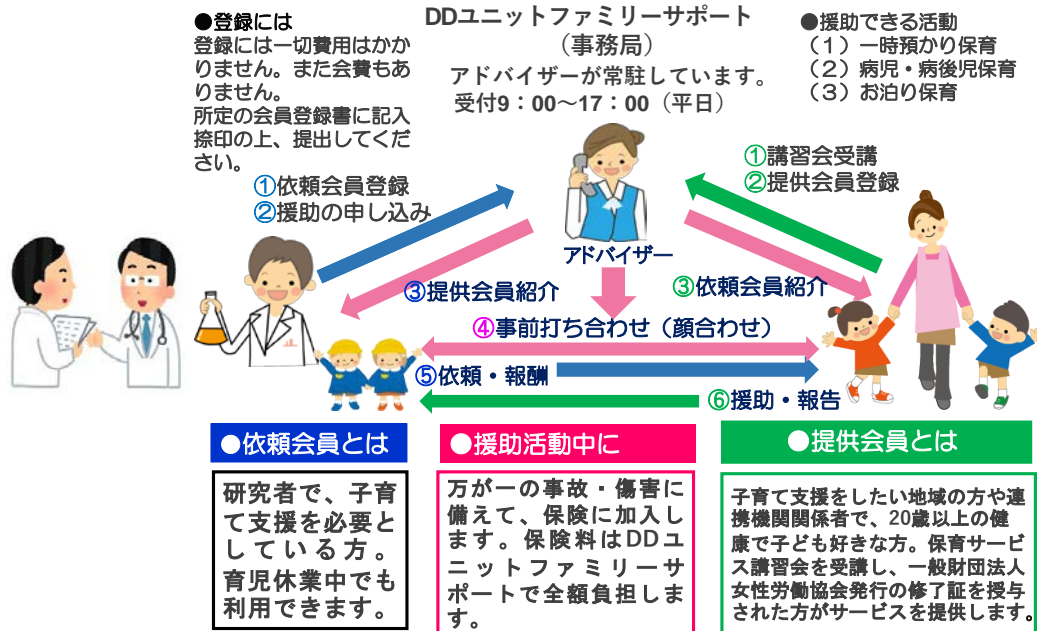
## <お知らせ>

4月から、男性研究者の方も入会でき、支援をご利用できることになりました。

提供会員が自宅出発後のキャンセルは全額支払いとなります。ご注意ください。

保護者在宅時（仕事・研究・家事・体調不良時等）の場合も預かります。

入園・進級・進学・引っ越し等で保育施設や住所が変更になった方は事務局まで必ずご連絡ください。



### 平成28年度活動実績件数

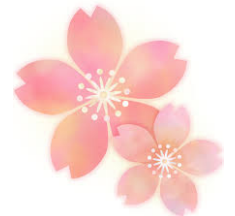
平成28年4月から保育支援開始 (件)

活動内容	平成29年2月末日現在	合計
1 保育園・幼稚園の登園前の預かりと送り		0
2 保育園・幼稚園の送り		1
3 保育園・幼稚園の迎え		1
4 保育園・幼稚園の迎えと帰宅後の預かり		54
5 保育園等の入所前の預かり		20
6 登校前の預かりと送り		0
7 子どもの習い事・塾等の送迎		56
8 学校の送り		0
9 学校の迎え		0
10 下校後の預かり		0
11 学校から学童保育への送り		0
12 学童保育の迎え		0
13 学童保育から帰宅後の預かり		14
14 保育園・幼稚園・学校等のお休み時の預かり		8
15 保護者の臨時的就労の場合の預かり		0
16 保護者の学会・研究会参加時の預かり		1
17 保護者の外出時（冠婚葬祭・リフレッシュ等）の預かり		3
18 他の子どもの学校行事・通院時の預かり		0
19 保護者の病気時の預かり（出産前後等も含む）		1
20 病児・病後児		2
21 その他		1
合計		162

### 会員総数

平成29年2月末日現在

会員総数（人）	74
提供会員	48
依頼会員（内訳）	26
東京医科歯科大学	20
順天堂大学	4
(株)ニッピ	2



#### 編集後記

平成29年の4月から支援活動の2年目に入ります。会員の皆さんと一緒に活動できることを大変うれしく思っています。

これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

山下茂子・池田いづみ

### DDユニットファミリーサポート

〒113-8510 文京区湯島 1-5-45

東京医科歯科大学

学生支援・保健管理機構 DDユニット事業推進室

e-mail: family-support.ddu@tmd.ac.jp

受付時間 月～金 9：00～17：00

■TEL：03-5803-4173

■FAX：03-5803-0412 終日受付

外出中・休日・時間外は留守番電話になっていますので、メッセージを残してください。